

# 公益社団法人 福井県ビルメンテナンス協会

## 第 5 回 理事会議事録 (通算第 74 回)

- 1 開催日時 令和 6 年 2 月 21 日 (水) 13 時 30 分～15 時 00 分  
2 開催場所 協会会議室  
3 理事総数及び定足数 総数 8 名 定足数 5 名  
4 出席理事 7 名  
廣瀬 充、木下勝元、杉田剛彦、内田新二、中村圭吾、會澤秀信、  
下中拓哉  
欠席理事 吉田保裕  
出席監事 下出隆嗣、松島和彦

### 5 議 案

協議事項 本年度決算の見通しと来期予算について

- 決議事項 第 1 号議案 事務局長の選任について  
第 2 号議案 能登半島地震災害義援金について  
第 3 号議案 会費について  
第 4 号議案 令和 6 年度事業計画書 (案) の承認について  
第 5 号議案 令和 6 年度収支予算書 (案) の承認について  
第 6 号議案 第 13 回社員総会の日時、場所並びに目的事項等

- 報告事項 ①会長報告  
②委員長会報告  
③運営委員会事業報告  
④総務委員会事業報告  
⑤広報委員会事業報告  
⑥教育研修委員会、労働安全委員会事業報告  
⑦青年部会事業報告

### 6 議事の経過と結果

#### (1) 会長の挨拶

2 月にしては暖かい日が続いており桜も 3 月中に開花するのではないかという気候だが、今日からまた寒くなり気温の上がり下がりが激しいので体調に気をつけていただきたい。また、いよいよ来月新幹線が福井に開通するが、3 月 16 日一番列車のチケットは 40 秒で売り切れたようだ。福井の経済の起爆剤になってくれればと思う。本日の理事会では皆さんにご相談して決議したい事案がたくさんあるのでご協力をお願いします。

#### (2) 定足数の確認等

事務局が定足数充足を確認し、第 5 回理事会の議事進行について説明をした。

#### (3) 前回議事録の承認並びに議案の審議と議決結果

会長が議長となり、本会議の成立を宣言した。

議事録署名人は定款 3 2 条の規定に基づき、廣瀬代表理事、下出監事、松島監事と

し、前回議事録について出席理事の全員で承認後、議案の審議に移った。

【協議事項】本年度決算の見通しと来期予算について

廣瀬会長より、令和5年度決算の見通しと次期予算について以下の説明があった。令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止等の影響で繰越金が増加している。そこで年初に大きな地震災害があったこともあり、義援金を提案したいということと、会費の見直しを期間限定で行うことを提案したい。

協議の結果、特に他に案出がないことから提案事項を含めた審議に移った。

【決議事項】

◆第1号議案 事務局長の選任について

廣瀬会長から、前任の奥島事務局長が退任されてから福井県協会は事務局長不在であったが、令和6年度より福岡事務局の就任承諾を得た上で承認頂きたい旨説明があった。

議長は議案を諮り、特に質疑応答なく満場一致で了承した。

◆第2号議案 能登半島地震災害義援金について

廣瀬会長より、本年1月1日に起こった能登半島地震災害の被災者に対し、隣県でもあり一日も早い被災地の復旧・復興を願い義援金100万円の寄付が提案された。時期は令和5年度中であるが、送金先と期日については会長一任ということをお願いしたい旨説明があった。

審議の結果、議長は議案を諮り満場一致で了承した。

◆第3号議案 会費について

廣瀬会長より、新型コロナ感染症拡大による事業中止等の影響で繰越金が増加しており、次年度の協会費を下記のとおり減免することの提案がなされた。

減免期間 令和6年4月分～令和7年3月分 1ヶ年間

減免金額 各社協会費（全国協会費1万円を除く）の10%

審議の結果、議長は議案を諮り満場一致で了承した。

◆第4号議案 令和6年度事業計画書（案）の承認について

◆第5号議案 令和6年度収支予算書（案）の承認について

関連性があることから一括上程され、福岡事務局から説明がされた。

事業計画については従来通りの事業を実施するが、変更点は以下のとおり。

・公益事業1 教育研修支援事業

公1-②ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO2024の日程は、11月20日～22日となっており少し時期が遅いので、視察スケジュールも遅くなる。公1-③ビルクリーニング技能検定の準備講習について、石川県開催の実技検定試験は、11月25日～29開催予定となっているので、その前に実施する必要がある。例年より早い時期を予定している。

・管理部門

第3号議案の可決により、期間限定で会費の見直しを行い、その間に事業仕分けを行うこととし、他県協会が取り組んでいる事業に関して状況調査を行う。また、かねてより懸案事項であった協会ホームページのセキュリティ見直しを含めたシステム改修を行う。

収支予算書は、以下について昨年度予算との増減の説明がされた。

- ・収入の部では第3号議案の可決により、936千円の会費収入減、事業収入ではアピリンピックの謝金辞退、貯水槽研修受講者減等により156千円の減となる。
- ・支出の部では事業費が92千円減額、管理費が863千円の増額となる。全般として、各事業の参加人数を最大値から平均値とする予算とした。事業費では、ビルクリーニング技能競技会全国大会の非開催年による負担減となっており、管理費では昇給および退職金積立開始による人件費増、懇親会・慰労会等の単価値上げによる会議費の増額、地区本部会議の対象者減による旅費交通費の減、事務所複合機の入替による賃借料の増額、協会ホームページのセキュリティ見直しを含めたシステム改修による雑費の増額、事業仕分けのための他県事業調査による調査研究費の増額となっている。

議長が質疑の有無を諮ったところ、杉田理事より以下の意見があった。

事業計画書の公1-②のビルメンフェアについてだが、時代の流れでロボット関連が多くなってきており、あまり興味がないという意見もある。また視察研修の参加者は経営者が多いが、従業員参加も含めたスケジュールの見直しをしてはどうか。

収支予算の青年部賀詞交歓会については、普段会わない人が一堂に会し非常に有意義な機会であるため予算を増額してはどうか。

これに対し、廣瀬会長は広報委員会にてビルメンフェア視察研修の旅程スケジュールの見直しを検討するよう下中担当理事に指示し、木下青年部会担当理事は予算の増額を提案した。

審議の結果、原案を修正の上議長は議案を諮り、出席理事満場一致で可決した。

#### ◆第6号議案 第13回社員総会の日時、場所、目的事項等

内田総務委員会担当理事は、第13回社員総会を下記要領で招集するため、定款に基づき理事会で決議したい旨の議案説明をした。

なお、社員総会の開催日に令和6年度協会功労者・永年勤続者の表彰式および懇親会を実施するため日程を説明した。例年5月31日だが、会場予約の関係で1日前倒しの日程となった。他の会場も検討したが、予算的にも中間の価格で新しくなったこともあり、今回初めて織協ビルとした。また駐車場はあるが、駐車券は出ないためなるべく公共交通機関をご利用いただきたい。

##### <社員総会>

日 時 令和6年5月30日(木) 15時30分より  
場 所 福井県織協ビル6F 602号室 〒910-0005 福井市大手 3-7-1  
目 的 ・令和5年度事業報告書(案)並びに決算報告書(案)の承認  
・令和6年度事業計画並びに収支予算の報告  
・その他報告事項

##### <表彰式>

日 時 令和6年5月30日(木) 16時30分より  
場 所 福井県織協ビル6F 602号室

<懇親会>

日 時 令和 6 年 5 月 30 日 (木) 17 時 30 分より

場 所 福井県織協ビル 10F ホール B ケータリング利用

議長は議案を諮り、出席理事満場一致で可決した。

【報告事項】

(1) 会長報告：廣瀬会長

1月に全国協会の賀詞交歓会に参加し、議員連盟からも県への陳情の際には協力する旨了承をいただいた。また1月30日、木下副会長と共に、石川県協会へ会員の皆様より能登半島地震被災地支援のために提供いただいた清掃用具を届けてきた。かなりの量が集まっており、有効活用していただけたと思う。

(2) 委員長会：木下副会長

特になし。

(3) 運営委員会：廣瀬会長（吉田担当理事代理）

昨年度の南越前地区豪雨災害支援の件費について、災害時における避難所等建築物の清掃および消毒等に関する協定書の見直しということがかねてより県医薬食品・衛生課と協議していたが、その回答をいただいた。結論としては、県としては件費の負担はできないこと、協定書では2、3日の活動を想定しており、昨年度の約2ヶ月間の清掃支援は想定外であった。当協会は県の医薬食品・衛生課が窓口だが、危機管理課から直接当協会に依頼が来ていたということで、全くのイレギュラーであった。今後は長期になることはないが、もし今後このようなことがあれば、事前に個別に契約をして実施するということがあった。

(4) 総務委員会：内田担当理事

特になし。

(5) 広報委員会：下中担当理事

こども絵画コンクールについて以下の事業を実施した。

公益事業 3-②第14回福井県ビルメンテナンスこども絵画コンクール

12月2日(土) 表彰式 10:30~ アオッサ1Fアトリウム

12月2日(土)~12月8日(金) 展示会 同上会場 15時以降作品撤収

12月13日(水)~15日(金) 3団体に団体賞を授与

(6) 教育研修委員会／労働安全委員会：會澤担当理事

教育研修委員会では以下の事業を実施した。労働安全委員会は特になし。

公益事業 1-③ビルクリーニング技能士検定準備講習

日 時：令和 5 年 12 月 6 日(水) 8 時 30 分~15 時 (準備を含む)

場 所：(株)アイビックス東尋坊研修センター

受講者：1名 (申込2名中1名欠席)

講 師：1名 (補助者延べ6名)

公益事業1-⑥第8回特別支援学校清掃検定

日時：令和5年12月16日(土) 12時30分～16時30分

場所：南越特別支援学校

受検者：5校22名

検定員：2名(補助者1名)

また、全国協会の外国人検定については3月中に次年度の予定が決まってくるということで、日程については未定となっている。

(7) 青年部会：木下副会長

2月6日(火)に4年ぶりの賀詞交歓会を開催した。20社48名と多数の参加で、入札担当者や新入社員等久しぶりに賑やかに和気あいあいと実施できたのではないかと思う。

7 その他

1) 杉田理事より以下の意見があった。先程の会長報告で県に陳情するとのことであるが、協会としてどの委員会が担当するのか、何を陳情するのか。入札担当者でないといけないことも多々あり、仕様書の中には今の時代にあっていない内容もある。担当部会として、市場調査部会を作ってはどうか。昔の陳情内容には改善の余地があると思うので、アンケートを取り要望を纏める部会としたい。

また會澤理事より、協会として陳情するには皆さんから意見を吸い上げる場が必要であるとし、県に陳情するだけでなく各市町村に対してもトップダウンしてもらう形でやっていただきたいと思うと意見があった。

これに対し杉田理事は、とりあえず県と福井市と坂井市に対し、會澤理事の貴重な意見も取り入れ意見を出し合って陳情の材料にしたいと思う。あくまで市場の調査で入札云々ではないが、人件費も上がり物価も上がっている中で適正な価格を予算組していただきたいということで、会長と人選をさせてもらいたいと述べた。

2) 廣瀬会長より以下の発言があり、協議の結果は以下のとおり。

・中部北陸地区独自の事業案を出してほしい。(地区本部より)

6年に1度だが、東京開催の統括管理者講習を中部で実施できないか。

その他特に案出なく再検討する。

・インスペクター講習の北陸地区開催の追加要望について(地区本部より)

福井県協会では特に要望はなしとする。

・全国協会のサービスマーク調査員について(地区本部より)

今期で廣瀬が退任し、次期より(株)コーワ嶋崎真幸氏にお願いする。

・全国協会の功労者表彰推薦は、令和6年度は該当者なしとする。

・災害マニュアルについて(地区本部より)

大阪協会で作成した災害マニュアルが、水が使用できない場合を想定しており、非常に有益な内容となっているので、ご参考に活用いただきたいとのこと。

・ワイヤレスマイクとスピーカーを購入したので、清掃奉仕活動や資機材講習会その他事業に活用いただきたい。

8 監事講評：下出監事

昨年、北陸三県BM経営者研修会で災害について竹田教授にご講義いただいたが、年明け早々隣の県で大きな地震があり、今年は震災に寄り添う年になると思う。一方で来月新幹線が開通となり、福井県としてはいよいよ盛り上がる年でもある。このような年には各都道府県の統計データ上犯罪が5倍になると耳にしたので、皆さんも気を張っていただきたいと思います。本日令和6年度の事業計画・収支予算が承認されたが、各事業の連携・結束力を高めて取り組んでいただきたいと思います。

議長から次回理事会の日程は、5月8日（水）13時30分協会会議室において開催、審議事項は令和5年度の事業報告書(案)並びに決算報告書(案)、功労者・永年勤続被表彰者の承認となると案内があった。また、先程の第2号議案の承認により公益目的事業の追加として県への変更届が必要となり、令和5年度の事業計画と収支予算書の修正案の承認を要するため、臨時理事会の開催を書面決議による提案が廣瀬会長よりなされた。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は署名押印する。

令和6年2月21日

代表理事

廣瀬 光



監 事

下出 隆嗣

同

松島 和彦

